



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社 ゼロ

上場取引所 東

コード番号 9028 URL <http://www.zero-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 世志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北村 竹朗

TEL 044-520-0106

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日

平成26年3月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	31,981	11.0	1,493	152.6	1,526	141.1	810	176.3
25年6月期第2四半期	28,799	4.7	591	△45.7	632	△42.4	293	△32.3

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 861百万円 (184.6%) 25年6月期第2四半期 302百万円 (△48.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	47.40	—
25年6月期第2四半期	17.16	17.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	30,742	14,119	45.9	826.05
25年6月期	31,096	13,333	42.9	780.07

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 14,119百万円 25年6月期 13,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	4.00	—	4.40	8.40
26年6月期	—	8.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	7.80	15.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	8.2	2,600	62.4	2,700	62.6	1,350	88.4	78.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ワールドウインドウズ、除外 1社 (社名)

詳細については、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期2Q	17,560,242 株	25年6月期	17,560,242 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

26年6月期2Q	467,711 株	25年6月期	467,711 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	17,092,531 株	25年6月期2Q	17,092,576 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場が円安で推移していることを受け、景気は緩やかな回復を続けております。輸出関連を中心に企業収益は改善を示し、停滞が続いていた雇用・所得環境は緩やかながらも持ち直しの動きが見られ、個人消費も底堅く推移していたところに消費税増税前の駆け込み需要が加わるなど、全般に好循環に入る兆しが見られます。一方海外では、欧州の債務問題、新興国の経済成長の鈍化などの不安要素は引き続き大きく、輸出中心で改善している企業の収益はまだまだ磐石とは言えない状況です。

自動車業界においては、国内新車の販売台数は前年同四半期連結累計期間（以下、前年同四半期という）比で110.0%（日本自動車工業会統計データ）となり、好調な状態で推移しました。特に10月から12月の第2四半期の前年比では119.3%と大幅な伸びとなっており、7月～9月の第1四半期の好調な状態を維持しております。海外への輸出につきましても円高是正が進み、海外経済減速はあるものの対中関係悪化の影響は後退したことにより、新車輸出台数は前年同四半期比で103.6%と増加しました。一方、中古車市場は、好調な新車の販売状況を受け下取り車の増加などで活性化しました。内訳では、国内中古車登録台数は前年同四半期比で100.3%とほぼ前年並みの結果となりましたが、輸出中古車台数は前年同四半期比で121.8%と大幅な伸びを示しました。

こうした環境下で当社グループの主力セグメントである自動車関連事業においては、主要取引先である日産自動車の新車販売台数が業界平均を上回る台数で増加したことにより新車輸送上は増加いたしました。また、中古車に関しましても、地域に密着した営業活動の継続に加えて、輸送商品ごとのきめ細かい付帯サービスの提供により売上高を伸ばし、自動車関連全体の売上高は前年同期比で増加いたしました。一般貨物事業においては、昨年度中に事業の徹底的な見直しを行い、不採算事業からの撤退及び事業所の統廃合を進めた結果、売上高は前年同四半期比で減少する結果となりました。また、ヒューマンリソース事業は、景気の緩やかな回復基調の中で、積極的な営業活動および営業体制の強化により顧客開拓活動を強力に推進し、また軽作業派遣等の新規事業を積極的に新規エリアへ展開した結果、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

自動車の国内流通に関連する台数

単位：台

国内販売		平成24年7月～平成24年12月	平成25年7月～平成25年12月	前年比
新車				
国内メーカー	*1	2,422,364	2,663,868	110.0%
(うち日産自動車)	*1	(293,237)	(331,242)	(113.0%)
海外メーカー	*2	123,202	147,293	119.6%
中古車				
乗用車	*3	1,918,961	1,856,798	96.8%
軽自動車	*4	1,358,869	1,431,718	105.4%
中古車計		3,277,830	3,288,516	100.3%
永久抹消登録車	*3	157,274	135,855	86.4%

輸出		平成24年7月～平成24年12月	平成25年7月～平成25年12月	前年比
国内メーカー新車	*1	2,314,146	2,392,313	103.4%
(うち日産自動車)	*1	(341,502)	(311,483)	(91.2%)
中古乗用車	*5	569,852	694,319	121.8%

*1 日本自動車工業会統計データ *2 日本自動車輸入組合統計データ *3 日本自動車販売協会連合会統計データ

*4 全国軽自動車協会連合会統計データ *5 日本自動車販売協会連合会統計の輸出抹消登録台数

以上の結果、当期における当社グループの業績は、売上高319億81百万円（前年同四半期比111.0%）、営業利益14億93百万円（前年同四半期比252.6%）の増収増益となりました。経常利益は15億26百万円（前年同四半期比241.1%）となり、純利益は、8億10百万円（前年同四半期比276.3%）となりました。

①自動車関連事業

当事業においては、当社の主要取引先である日産自動車の国内販売の売れ行きは新型軽自動車の導入効果もあり、国内新車販売台数は331,242台（前年同四半期比113.0%）となりました。輸出台数は311,483台（前年同四半期比91.2%）となりました。（日本自動車工業会統計データ）

この影響を受け、日産車の新車輸送については売上増となりました。また、日産以外の新車、特にBMW、メルセデス・ベンツ等の輸入車及び中古車につきましても前年同期を上回り車両輸送の売上を増やすことが出来ました。また、大型車整備センターの能力増強に伴い、整備売上も拡大することが出来ました。これらの結果、売上高は245億61百万円（前年同四半期比115.8%）となりました。利益につきましては商品構成が軽自動車の比率が高くなる等の変化、輸送距離の短距離化による悪化要素はあるものの、輸送コストの削減によりセグメント利益は15億49百万円（前年同四半期比151.4%）を達成いたしました。車両輸送事業を取り巻く環境は、自動車販売台数が長期的に減少傾向で推移しているため厳しい状況下にあります。しかし、「中継輸送回数の削減による輸送品質の向上、納期の短縮、輸送コストの削減」への取組みを更に徹底し、市場の需要に左右されずに確実に収益を生み出せる体質の強化を着実に推進しております。

②一般貨物事業

当事業においては、主要取引先である家電業界の長期化する景気低迷に対し、昨年度中に事業の徹底的な見直しを行い、不採算事業からの撤退及び事業所の統廃合を進めた結果、売上高は23億36百万円（前年同四半期比73.8%）の大幅減となりましたが、セグメント利益は4億13百万円（前年同四半期比251.5%）と大きく改善いたしました。事業見直しの成果により収益性の高い構造に変革いたしました。

③ヒューマンリソース事業

当事業においては、景気全般は回復基調にあり派遣・請負需要も回復の兆しはあるものの、派遣・請負料金の引き下げ要請、稼働時間の短縮などがあり、依然厳しい環境となっております。このような状況の中、当社グループは積極的な営業活動および営業体制の強化により顧客開拓活動を強力に推進し、また軽作業派遣等の新規事業拡大を積極的に新規エリアに展開しました結果、売上を増加させることができ、売上高52億47百万円（前年同四半期比115.6%）を確保することが出来ました。セグメント利益は、収益性の高い商品への活動比重を高めた結果、2億52百万円（前年同四半期比127.6%）となりました。

なお、上記報告セグメントに含まれていない全社費用（当社の管理部門に係る費用）及びのれんの償却額等は「3. 四半期連結財務諸表（4）セグメント情報等」に記載の通り「調整額」の項目として計上しており、7億22百万円となります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億51百万円（1.9%）減少し、128億44百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が4億5百万円減少したものの、たな卸資産が2億6百万円増加したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円（0.6%）減少し、178億97百万円となりました。

これは主に、建物及び構築物が1億5百万円、のれんが1億64百万円減少し、投資有価証券が1億50百万円増加したことによりです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ3億54百万円（1.1%）減少し、307億42百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億9百万円（5.2%）減少し、92億36百万円となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が1億5百万円、流動負債のその他が3億98百万円減少したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6億30百万円（7.9%）減少し、73億86百万円となりました。

これは、長期借入金が4億5百万円、退職給付引当金が3億10百万円減少したことによりです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ11億40百万円（6.4%）減少し、166億22百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億85百万円（5.9%）増加し、141億19百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が7億35百万円増加したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月9日に開示しました平成26年6月期の業績予想につきましては、本日（平成25年2月13日）開示しました「業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の通り修正いたしましたのでご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、株式会社ワールドウィンドウズの株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872	4,466
受取手形及び売掛金	6,868	6,970
商品	53	261
貯蔵品	86	84
繰延税金資産	271	270
その他	985	880
貸倒引当金	△41	△90
流動資産合計	13,096	12,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,302	3,197
機械装置及び運搬具（純額）	188	179
工具、器具及び備品（純額）	66	60
土地	8,373	8,373
リース資産（純額）	1,409	1,413
建設仮勘定	—	24
有形固定資産合計	13,341	13,248
無形固定資産		
のれん	1,808	1,644
その他	427	566
無形固定資産合計	2,236	2,210
投資その他の資産		
投資有価証券	763	914
長期貸付金	105	85
繰延税金資産	777	688
その他	912	885
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	2,422	2,438
固定資産合計	18,000	17,897
資産合計	31,096	30,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,430	3,422
短期借入金	750	750
1年内返済予定の長期借入金	1,607	1,502
未払法人税等	574	557
未払消費税等	272	265
賞与引当金	406	416
転貸損失引当金	—	15
その他	2,703	2,305
流動負債合計	9,745	9,236
固定負債		
長期借入金	2,041	1,636
退職給付引当金	3,029	2,719
役員退職慰労引当金	427	454
転貸損失引当金	—	52
繰延税金負債	76	76
再評価に係る繰延税金負債	1,088	1,088
資産除去債務	41	41
その他	1,311	1,315
固定負債合計	8,016	7,386
負債合計	17,762	16,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,390	3,390
資本剰余金	3,204	3,204
利益剰余金	7,571	8,306
自己株式	△152	△152
株主資本合計	14,014	14,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	18
土地再評価差額金	△705	△705
為替換算調整勘定	8	56
その他の包括利益累計額合計	△681	△630
純資産合計	13,333	14,119
負債純資産合計	31,096	30,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	28,799	31,981
売上原価	25,480	27,400
売上総利益	3,319	4,580
販売費及び一般管理費	2,727	3,087
営業利益	591	1,493
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
受取手数料	35	38
持分法による投資利益	14	7
その他	43	39
営業外収益合計	95	87
営業外費用		
支払利息	43	38
その他	9	16
営業外費用合計	53	55
経常利益	632	1,526
特別利益		
固定資産売却益	12	1
特別利益合計	12	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	11	0
転貸損失引当金繰入額	—	69
その他	0	3
特別損失合計	11	73
税金等調整前四半期純利益	634	1,454
法人税等	341	644
少数株主損益調整前四半期純利益	293	810
四半期純利益	293	810

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	293	810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	2
持分法適用会社に対する持分相当額	2	48
その他の包括利益合計	9	50
四半期包括利益	302	861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302	861

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	634	1,454
減価償却費	349	357
のれん償却額	164	164
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	45	△310
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	△22
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	—	68
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	43	38
固定資産除売却損益 (△は益)	△1	△1
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	524	3
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14	△29
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	73	90
仕入債務の増減額 (△は減少)	△183	△24
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△244	△451
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93	△7
その他	2	△22
小計	1,278	1,344
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△44	△38
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△366	△520
営業活動によるキャッシュ・フロー	870	787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△228	△50
有形固定資産の売却による収入	82	7
無形固定資産の取得による支出	△111	△187
投資有価証券の取得による支出	△100	△101
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△175
貸付けによる支出	△17	△60
貸付金の回収による収入	62	85
その他	4	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△448

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50	—
長期借入れによる収入	300	100
長期借入金の返済による支出	△723	△610
リース債務の返済による支出	△117	△158
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△119	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△610	△744
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△48	△405
現金及び現金同等物の期首残高	4,683	4,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,635	4,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連 事業	一般貨物事 業	ヒューマン リソース事 業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	21,197	3,151	4,450	28,799	—	28,799
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	16	89	120	△120	—
計	21,212	3,167	4,540	28,920	△120	28,799
セグメント利益	1,023	164	198	1,386	△794	591

(注) 1. セグメント利益の調整額△794百万円には、全社費用△630百万円、のれんの償却額△164百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連 事業	一般貨物事 業	ヒューマン リソース事 業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	24,546	2,315	5,119	31,981	—	31,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	20	127	162	△162	—
計	24,561	2,336	5,247	32,144	△162	31,981
セグメント利益	1,549	413	252	2,216	△722	1,493

(注) 1. セグメント利益の調整額△722百万円には、全社費用△558百万円、のれんの償却額△164百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。